



学校教育目標 主体的に考えて行動するー自律・創造・尊重ー

加古中 TIMES

笑顔あふれる学校 KAKOGAWA

Knowledge(知識・経験からの情報)
 Action(行動・活動)
 Kindness(親切・思いやり)
 Open-minded(広い心・偏見のなさ)
 Growth(成長・発展)
 Appreciation(感謝・正しい評価)
 Wellness(心身の健康・生活のバランス)
 Answer(答えを見出す)

「ごちそうさま」に込められた、みんなの成長→残食が激減

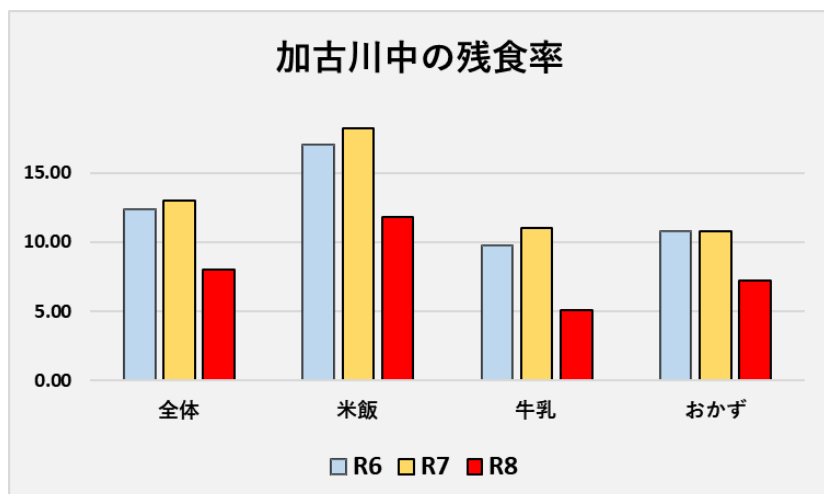
明日で1学期が終了します。今年度のスタートから、3ヶ月半が経とうとしています。

今日は、最近の本校に関するニュースで嬉しく思っている変化を伝えさせてください。それは、毎日の「給食の残食率(食べ残しの割合)」が、明らかに減っていることです。右の表は、今年度6月末までの加古川中学校と市全体の残食率を比較したものです。どの数値も市全体の平均値を下回っています。

6月末時点	加古川中	市全体
全 体	8.04	8.60
米 飯	11.82	12.86
牛 乳	5.06	4.43
おかず	7.25	8.28

また、2年前からの本校の残食率を比較してみると、令和8年度の数値は明らかに低下傾向にあります。これは、学年はもちろん、学校全体の取組の成果だといえます。

給食の準備の時間には、クラスの仲間と声を掛け合い、上手に盛り切ろうと協力する姿を目にします。「あまり好きではないけど、もう一口だけチャレンジしてみよう」「準備を早くして、食べる時間をしっかり確保しよう」という、一人ひとりの前向きな意識が、この結果に表れていると考えます。



給食を調理してくださる調理員さん・配送の配膳員さんへの感謝はもちろん、地球の環境や命を大切にしようという皆さんの心の成長が、数字となって形になったのだと感じています。学校全体のチームワークが育っている証拠でもあり、本当に誇らしい気持ちです。

少しの意識で食品ロスの減少に貢献できることが証明されたわけですが、世界に目をやると、食糧難で困っているこどもたちがたくさんいます。学校に来れば不自由なく昼食できることに感謝しつつ、大切な食事を味わい、無駄を少しでも減らせるように意識したいものです。

これからも、しっかり食べて健康な体をつくり、元気に学校生活を送っていきましょう。みなさんの素直な頑張りに、心からの拍手を送ります。

